

事務事業名		県道整備関連事業		所属部	建設部	所属課	都市計画課
総合計画 画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	国県事業G	課長名	小村 利之
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	吾郷 雄一	電話番号	0854-40-1064 (内線) 2462
	目的対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 4 0 0 8 国道・県道整備事業 項 目 中事業 中事業名 1 0 1 5 0 3 県道整備関連事業
	基本事業名	〈034〉道路の新設・改良		目的対象	道路利用者	意図	安全で便利に移動できる。

1 現状把握〔DO〕

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H30 年度～ R元 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
【市道取付工事】 島根県が施行する都市計画道路新庄飯田線整備工事(雲南市大東町大東地内)、主要地方道出雲三刀屋線改良工事に関連して、市道新庄温泉線、大東町上み支線の取り付けを改良するものである。
【交差点計画策定業務】 ドローンにより撮影した航空写真を使用して地形図及びオルソ画像を作成し、交差点計画を策定するもの。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績(R元年度に行った主な活動)	R2年度計画(R2年度に計画する主な活動)			
		・市道新庄温泉線改良工事(L=60m) ・市道大東町上み支線改良工事(L=19m) ・市道遠所線・県道玉湯吾妻山線 交差点計画策定業務(写真測量)	予定事業なし			
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	ア 整備延長	m		409	79	
	イ 供用延長	m		409	79	
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	市道及び市道利用者	ア 整備計画延長	m		500	500	
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。	ア 整備率(供用延長/整備計画延長)	%		82	100	
		イ					
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
新庄飯田線4工区街路事業市道取付工事(新庄温泉線・大東町上み支線) 負担金 10,400千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円		24,300	9,800	
	その他	千円				
市道遠所線・県道玉湯吾妻山線交差点計画策定業務 委託費 495千円	一般財源	千円		1,350	1,095	
	事業費計(A)	千円		25,650	10,895	
【地方債】	正規職員従事人数	人		2	2	
・合併特例債9,800千円	延べ業務時間	時間		40	40	
	人件費計(B)	千円		173	170	
	トータルコスト(A)+(B)	千円		25,823	11,065	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
都市計画道路、主要地方道路整備の進捗に合わせて、取付市道整備の必要性が高まっている。	島根県と同時に施工することにより、通行規制期間の短縮や交通誘導員の減員、施工の効率化を図っている。	県道、関連市道を安全に通ることができる道路網の整備促進

事務事業名	県道整備関連事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		理由
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	
	地理的な条件および県道整備との調整により向上の余地はない。		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	県道整備と連携して行うため、整備効果に影響がる。	
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	理由
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	
各事業の整備目的が異なるため統廃合は難しい。			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	道路の規格・構造は一定の基準に基づいて設計しており、工法についても比較検討のうえ採用している。		
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	工事発注、監督及び用地交渉については必要最小限の業務で行っており、削減、外部委託できない。	
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
D 公平性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由
道路は不特定多数の市民が利用する施設であり、利用者を特定した受益負担は求められない。			
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持低下	●	×			×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持低下	●	×																	
		×	×																	
令和元年度で事業完了	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			